

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ツリーハウス安来教室		
○保護者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		～ 2025年 3月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月28日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全面芝生の広いグラウンドがあり、子ども達がのびのびと遊べる	サッカークラブチームのコーチによる「サッカー教室」が人気で、その他鬼ごっこやドッジボールなど、全身を使って運動ができるようプログラムを計画しています	サッカー教室の回数を増やし、サッカーのルールも教えて、紅白戦ができるように取り組んでいます
2	木育活動に取り組み、五感で木に触れることで子ども達的情绪の安定や感性を豊かにしていく活動を行っています	みんなで協力して一つのモノ(木製のベンチや看板など)を作ったり、個人製作でおうちの方へ写真立てやクリスマスツリーを作ったりして、飽きないように製作物を工夫しています	木材製作の就労施設とタイアップして、見学・体験活動を通じて、就労に向けた経験も積めるよう計画しています
3	子ども達が「ツリーハウスに行きたい!」と毎日思ってくれるような、ワクワクするプログラムを計画しています	全職員が普段から、「これおもしろいかも」「ツリーハウスでやってみたら楽しいかも」と思い浮かんだことを日々のミーティングの中で出し合い、また地域のイベントなどの情報にもアンテナを立てて情報収集しています	子ども達が飽きないように、もっとワクワクできるよう、さらに楽しめる活動になるよう、貪欲にプログラムの計画をしていきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	玄関にスロープがなく、階段のみの造りとなっている	構造上の問題もあり、段差解消機が使いづらい	介助が必要な利用者へ、階段での転倒事故が起らないよう、職員が手を繋いで補助を行っている
2	ペアレントトレーニングについて積極的な支援を行っていない	情報提供を行っていない	関係機関と連携して、ペアレントトレーニングの機会を設けていく
3			